

令和7年度連携事業実績一覧

実施済	24
事業中止	13
計	37

※予定時より2事業追加（新規1、継続1）（網掛け部分）

項番	種別	区分	事業名	大学担当部署	市担当部署	事業内容	実施状況	事業効果・成果	今後の課題等
1	インターンシップ	継続	公共サービスのイノベーション人材育成事業	経営学部	市民室 出張所担当	出張所の窓口サービスをより良くするための調査・提案活動を行う。学生が現地調査を行い、そこから生まれた課題に対し、改善案の提案・実施に向け取り組む。	実施済み	キャッシュレス決済の普及・啓発のポスター及びステッカーの作成を行った。ポスター及びステッカーの掲示後、R7.12月末にはキャッシュレスの利用率15.5%（今年度目標値利用率14%）を達成した。	出張所窓口業務の多様化に伴う様々な問題を学生と検討し、課題の抽出、改善策の検討を今後も進めていく必要がある。
2	インターンシップ	継続	博物館学芸員課程 博物館実習	ある	文化遺産活用課	学芸員課程の実習生の受け入れ及び講師派遣	実施済み	学芸員課程の実習生の受け入れ及び講師派遣	・学芸員を目指す学生に有益となる事業の検討 ・学生の来館に繋がる事業の検討
3	インターンシップ	継続	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 （学芸員課程履修学生の受け入れ及び講師派遣）	経営学部	久保記念美術館	特別陳列開催期間中に見学実習を行い、夏季に5日間博物館実習として学生を受け入れる。	実施済み	桃山学院大学学芸員課程3名を4月26日に受入れた。学芸員実習は人員不足のため開催を見送った。	キャンパスメンバーズを活用し、学芸員課程以外の生徒、教職員の来館を促す
4	インターンシップ	継続	和泉シティプラザにおける桃山学院大学インターンシップ実習生の受け入れ	キャリアセンター	生涯学習推進室 生涯学習担当	生涯学習推進事業の一環で実施しているインターンシップ制度。受入先は、生涯学習センター、図書館、保健福祉センター、男女共同参画センター、和泉市役所出張所のいずれか。	事業中止	—	—
5	インターンシップ	継続	桃山学院大学留学生インターンシップ実習生の受け入れ【国際交流事業】	国際センター	生涯学習推進室 生涯学習担当	留学生のインターンシップを受け入れ、市の国際化推進・国際交流事業を体験してもらう。	事業中止	—	—
6	ボランティア	継続	和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」との連携事業	ボランティア活動支援室	広報・協働推進室 公民協働推進担当	子育て世代応援「もちやまキッズランド」として、桃山学院大学生との協働で、ボランティア団体も参加し、子育て世代の親子が楽しく交流できるイベントをアイ・あいロビーや近隣施設にて実施。 令和7年度は以下のとおり実施した。 ・6月7日（土） 参加者数400名 内容「オリジナルバッジ」「紙コップコマ作り」「手作りレーシングカー」「スマートボール」「パルーンアート」「サイエンスショー」 ・10月4日（土） 参加者数159名 内容「読み聞かせ」「かんたん工作」「シャボン玉で遊ぼう」「サイエンスショー」 ・12月13日（土） 参加者数75名 内容「読み聞かせ」「クリスマスの工作」「マジック」「サイエンスショー」	実施済み	当日だけでなく企画から学生に参加してもらうことで、新たな繋がりやコミュニティが生まれる。（世代間交流） また、最近学生の参加人数が減少しているため、大学のキャンパス内で開催することで登録者以外の学生にも「アイ・あいロビー」を周知しボランティアの啓発を行った。	学生ボランティアも、参加者（特に保護者）も、当日のみの参加で完結していることが多いので、そこから更に深く繋がるための工夫を模索している。
7	ボランティア	継続	信太山クロスカントリー大会 IN 大阪和泉	地域連携課	生涯学習推進室 スポーツ振興担当	大会を通じた大学の広報活動支援、大会当日の受付や走行ランナーの安全を確保する陸上競技部のランナーボランティア。	実施済み	大会を通じた大学の広報活動支援を行った。 大会当日は、3名の学生に食べ物配布の補助や走行ランナーの安全確保を担ってもらった。 スムーズかつ安全に大会を運営できた。	—
8	ボランティア	継続	公共図書館との連携事業	地域連携課	生涯学習推進室 生涯学習担当	・市立図書館での事業を連携・参画して実施し、学生と地域の子どもたちや図書館利用が様々な形で触れ合う場の提供。（学生による絵本の読み聞かせなど） ・図書館司書課程を学ぶ学生に市立図書館の現場の仕事や取組みを具体的に伝える。 ・大学内において、学生や大学への来訪者を対象にした、図書館利用カードの出張発行事業や、電子図書館の体験事業など、公立図書館の周知や利用活性化につながる各種事業を開催する。	実施済み	・桃山学院大学生向け出張登録会：図書館カードの発行と電子図書館の説明を2日間実施。大学生に図書館のことを知ってもらい利用促進につなげる。【登録者13名】 ・桃山学院大学祭出店：リサイクルブック等の企画を通して学生だけでなく地域の方へ図書館の取り組みを知っていただく。2日間合わせて図書館の出店ブースへ1,237名の方に来場いただいた（大学祭の集客に貢献）。 ・大学生による図書館での読み聞かせ：桃山学院大学で活動するサークルによる絵本と紙芝居の読み聞かせ。大学生へ活動の場を提供。【3回実施し参加者合計66名】	登録や周知だけでなく、大学祭への参画等による学生との協働から図書館の利活用へとつなげていく。
9	桃山学生向け	継続	法職オリエンテーション	法学部	人事課	【事業概要】 学生の学習意欲の向上を図り、和泉市への関心や市政への参加意欲を高めるとともに、将来の就職先として和泉市職員の志望者数の増加を図るため、市長・職員が市役所の仕事や和泉市について講義を行う。 【講義日程/対象者/講師】 ①令和7年7月15日（火） 法学部3回生/人事課職員 ②令和7年12月11日（木） 法学部1回生/人事課職員 ③令和7年12月18日（木） 法学部1回生/市長 【講義内容】 ①②和泉市の概要、市の組織、市の役割と施策、採用試験の概要 ③和泉市の概要、市の役割と和泉市の施策、市長の仕事とは、学生へのメッセージ	実施済み	将来の就職先として和泉市職員を志望し、実際に複数の学生が新規採用職員に申し込みをしてくれた。	—
10	桃山学生向け	継続	デートDV防止講演会	法学部	人権・男女参画室 人権・男女参画担当	国内外の男女共同参画施策の動向やSDGs（目標5ジェンダー平等）との関わりと、男女の人権尊重の推進の醸成につなげることを目的とし、学生や教職員、一般市民を対象に女性に対する暴力をなくす啓発事業の一環として、デートDVに対する正しい理解を深めるために講座を開催（法学部は授業の一環で単位取得の位置づけ）	実施済み	講義後のアンケート調査結果から、DVについての正しい知識や現状を知り、参加者自身の性別役割分担意識などに気づきを促し、考えを深めることができたと考えます。	近年、若年層に対する性暴力にかかる問題が深刻な状況にあることから、引き続き講座を開催する必要がある。
11	桃山学生向け	継続	経営学特講—まちをビジネスする（観光ビジネス）	経営学部	産業振興室 商工来訪促進担当	地域資源を活用した観光ビジネスの現状・発展の可能性について学ぶため、学生自らがフィールドワークにて得た情報を基に、和泉市の観光ビジネス案を作成し、プレゼンテーション等を行う。（経営学科の学生による約全15回の定期講義）	実施済み	学生の視点により検討された観光施設に対する課題や活性化案についてプレゼンテーションを聞くことで、新たな気づきに繋がり、施策の検討において役立っている。	市内の観光施設のみならず、府内の観光施設に範囲を広げることで新たな気づきに繋がっている。
			経営学特講—まちをビジネスする（公共施設の経営）	経営学部	生涯学習推進室 生涯学習担当	公共施設の経営をビジネスという観点から捉え、利用者を増やすための手立てを学生に提案いただくもの。「和泉シティプラザの現状と課題」をテーマに市職員による課題を提示し、現地見学やグループディスカッションを行った後、学生にプレゼンテーションしてもらう。	事業中止	—	—
12	桃山学生向け	継続	消費者啓発事業	経済学部	くらしサポート課 消費生活センター	消費者被害の防止を目的とし、教員との連携により啓発講座を開催する。	実施済み	令和7年6月11日実施。 大学生に広く周知することで消費者被害防止を行うとともに、大学生が認識を深めることにより、将来的な消費者被害防止につながる。	教員や消費生活相談員の交代等に伴う講座開催の継続性につながる。
13	市民向け	継続	いすみ市民大学教養学部における連携講義	エクステンション・センター	生涯学習推進室 生涯学習担当	いすみ市民大学教養学部にて、教員が座学による講義を提供する。	実施済み	・桃山学院大学等と連携し、専門的な学習機会を体系的・総合的にバックアップし、より多くの方に楽しく、わかりやすく提供することができた。【まちづくり学部/教養学部 延べ受講者数6,667人】	—
14	教育支援	継続	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 （学外研修：学校現場体験）	教職センター	学校教育室 教育推進担当	学生が、市立小中学校・義務教育学校・幼稚園・保育園・教育センター、生涯学習推進室等で、様々な教育活動の補助にあたる。学生は当該活動が学外研修として単位認定される。（令和元年度以降、実施なし。令和7年度も実施されないことは、大学側に確認済み。変更がある場合は大学より連絡をいただく旨確認済み（250106現在）） ※単位認定を行う形での事業実施は行わないが、単位認定に関与しない個別の取組みについては実施する。	実施済み	令和元年度以降、実施なし。令和7年度、実施されないことは、大学側に確認済み。変更がある場合は大学より連絡をいただく旨確認済み（260107現在）。	大学側の取組みが再開された場合、速やかに実施できるようにする。

令和7年度連携事業実績一覧

実施済	24
事業中止	13
計	37

※予定時より2事業追加（新規1、継続1）（網掛け部分）

項番	種別	区分	事業名	大学担当部署	市担当部署	事業内容	実施状況	事業効果・成果	今後の課題等
15	教育支援	継続	和泉市中学生生徒会サミット	教職センター	学校教育室 児童生徒支援担当	事前に設定したテーマをもとにグループで討論会を実施する。 日時 令和7年8月25日(月) 14:00~ 内容 各中学校の生徒会役員により、事前に設定したテーマでグループ討議(教職課程在籍の学生と意見交流)と全体討議	実施済み	今年度で、15回目の開催となり、生徒会役員にとっての活動の場となっている。今回は「特色ある学校の取組みについて」及び「解決したい課題を、周りを巻き込みながらどう進めていくか」というテーマで開催し、発表やグループ討議を行った。各校の取組みを知ることで、今後の取組みを考える貴重な機会となった。	生徒会役員からの参加であるため、全体討論された内容等が各校で共有されることが重要。また、会の実施形態、テーマについて、形骸化しないよう工夫が必要。
16	教育支援	継続	アメリカンフットボール部地域支援事業(フックフットボール指導)	アメリカンフットボール部	学校教育室 教育推進担当	アメリカンフットボール部による小学校へのフックフットボール指導(出前授業)や桃大グラウンドでの試合体験	事業中止	令和7年度は実施なし。 今後は、小学校等からの依頼があれば対応可能なこと。	小学校等から積極的な依頼を行い、連携を進め、実施できるようにする。
17	教育支援	継続	教育連携事業(PBL型学習プログラム授業)	大学統括部 BDLオフィス	学校教育室 人権教育担当	市立小中学校・義務教育学校において、大学教員、PBL学習コーディネーター、学生などと協働して、PBL型学習プログラム授業を実施する。	実施済み	横尾学園において、7年生が大学教授からPBL型学習プログラムの説明を受けながら、地域を教材とした『横尾学』に取り組んだ。その結果、生徒の主体性向上や、協働する力、正解のない問いに対する論理的思考力や問題解決能力、表現力など多角的なスキルが向上した。	取組みを単年度限りとせず、今後も継続して取り組み、一人ひとりの力をさらに伸ばしていく。
18	教育支援	継続	和泉市交換学生派遣受入事業	国際センター	生涯学習推進室 生涯学習担当	姉妹都市であるアメリカ・ミネソタ州ブルーミングトン市への交換学生の派遣に際し、事前研修として、大学の留学生等の交流などを実施する。また、交換学生受入時に、桃山学院大学への訪問を行い、大学内の見学や留学生を含む学生との交流会を実施する。	実施済み	事前研修の一環として、桃山学院大学の留学生とともに、英語のみの会話に限定した餃子づくり研修を開催。研修の目的である英語でのコミュニケーションに慣れることができた。	-
19	教育支援	新規	水泳部活動連携	地域連携課	学校教育室 児童生徒支援担当	水泳部がある中学校5校(郷荘、北池田、石尾、和泉、南松尾はつが野学園)の水泳部に所属する生徒を対象とした「桃山学院大学水泳部と連携した合同練習会」を開催した。 日時 令和8年3月7日(土)※2部制 1部 9:00~10:30(郷荘中学校、北池田中学校) 2部 11:00~12:30(和泉中学校、石尾中学校、南松尾はつが野学園) 内容 大学指導者及び大学生が「科学の力で爆速スイマーになろう」というテーマにそって仲間と協力しながら楽しみつつ、水の特性を理解し、泳力の向上をめざして、中学生への指導を行った。	実施済み	水泳授業の民間委託に伴い、部活動の地域展開を見据え、合同練習会を実施したが、参加した子どもからは、「冬場は泳ぐ機会が少ないので、きれいなプールで泳ぐことができて良かった。」という声とともに、顧問の教員からも、「近隣の中学校が集まり、切磋琢磨できる良い機会になった。」という肯定的な意見が聞かれた。部活動の地域展開の形を模索する良い機会となった。	市内全中学校の水泳授業の民間委託により、R10より学校プールの活用が終了することに加え、部活動の地域展開の検討を進める必要がある中で、和泉市と大学が協働して、和泉市の子どもたちを支える仕組みを創造していく必要がある。
20	委員委嘱	継続	和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業(CSWへのスーパーバイス)	社会学部 ソーシャルデザイン学科	福祉総務課	専門的見地から個別支援や地域支援の事例を通して、CSWの課題整理やアドバイスをいただき、CSWの取組みをより充実させる。	実施済み	定期的にスーパーバイスを受けることで、ケースが好転したり、個別支援から地域活動につながることでできたケースがみられる。	各事業所内で相談体制の構築が難しい中、専門的なスーパーバイスを受ける機会は重要となっている。個別支援と地域支援の関連性やそのノウハウについて、実践しながら定期的にスーパーバイスを受ける機会を作ることで、CSWの質向上につなげていく。
21	委員委嘱	継続	認知症地域で支え“愛”事業	社会学部 ソーシャルデザイン学科	高齢介護室 高齢支援担当	「和泉市の認知症支え“愛”を考えるまちづくり連絡会」「認知症初期集中支援事業検討委員会」への参画。 随時、認知症地域で支え“愛”事業に関して、研修等への協力依頼・専門的なアドバイスをいただく。	実施済み	認知症地域で支え“愛”事業を展開する上での貴重な意見を頂き、連絡会及び委員会出席の委員・事務局にて意見を共有することができた。	-
22	委員委嘱	継続	和泉市生活困窮者自立支援事業	社会学部	くらしサポート課 生活相談係	専門的見地から相談支援、地域づくり等に関する助言及び連絡会議の外部アドバイザーとして、参加していただく。	事業中止	-	-
23	4つの約束	継続	MOMOYAMAエクステンション・カレッジ	エクステンション・センター	所管部局	地域の方々への知的ニーズにこたえ、より充実した豊かな時間をともに過ごしていただくための社会人向け講座に対し、地場産業や産業・工業関係事業者との調整を行う。	事業中止	-	-
24	4つの約束	継続	使い捨てコンタクトコンタクトレンズ空ケースの回収事業	地域連携課	環境政策室 生活環境担当	和泉市民が排出する使い捨てコンタクトレンズ空ケースを適正に回収処理し、ごみ減量及び適正処理の市民意識の高揚と再資源の促進を図るため、令和3年2月2日より『いずみプラスチェックごみゼロ宣言』の取り組みとして、桃山学院大学と包括連携を行い、HOYA株式会社アイケアカンパニーが提供する「アイシティecoプロジェクト」に参加している。	実施済み	コンタクトレンズの空ケースはそのほとんどがポリプロピレンというリサイクルに適している素材で作られています。その多くはごみとして廃棄されていてリサイクル率は1%程度です。「いずみプラスチェックごみゼロ宣言」を令和元年10月に宣言を契機に、空ケースのリサイクルを促進し、ひいてはごみの減量化に取り組んでいます。	「アイシティECOプロジェクト」の更なる普及と市民への周知方法
25	その他	継続	地域の魅力・顔づくりプロジェクト<和泉中央>	地域連携課	産業振興室 商工業来訪促進担当	「“えき”から広がる大阪の再生」をテーマに、和泉中央駅周辺の活性化を図るため、地域の課題を探り、ニーズにこたえたイベントを企画・実施するにあたり開催されている「まちづくり会議@和泉中央」に参加している。 【プロジェクト推進協議会会員団体】 桃山学院大学、エコー・いずみ店舗会、備前西都市居住サービス エコー・いずみ営業所、泉北高速鉄道(株) 運輸部、南海バス(株) 光明池営業所、備前ソラ泉州販売 和泉中央店、認定こども園いずみのPreSchool	実施済み	会員団体による和泉中央駅周辺のゴミ拾いや花植えを通じ顔の見える関係性づくりを構築することにより、地域の課題解決や活性化に繋がっている。	令和7年度に解散の決議がなされ、令和8年度中に解散予定。
26	その他	継続	租税教育推進の街いずみプロジェクト	未定	税務室 学校教育室	教育機関、泉大津税務署、市税務担当及び市教育委員会が積極的に連携し、次代を担う学生等に税の意義や役割を伝えることをめざし、小・中学校にて学生による租税教室等を実施する。	事業中止	-	-
27	その他	継続	成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業	総務部 経営企画課	政策企画室 IT活用推進担当	文部科学省が推進する「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」の探採に向け、DX/GXといった成長分野に関する地域の社会人向け研修事業への企画協力、産官学で構成する事業実施委員会の運営および探採後の事業実施について連携する。	事業中止	R7は連携事業が無かったため実施なし。	-
28	その他	継続	春季走り方教室	地域連携課	生涯学習推進室 スポーツ振興担当	市内小学生を対象に開催。スポーツ推進委員が短距離走の走り方、トレーニングを小学生に教えるイベント。 陸上のトラックを借用し、開催。	事業中止	市内の社会体育施設を利用して開催しているため、桃山学院大学のサブアリーナを会場としての実施には至っていない。	実施に向けては再度調整・協議する必要がある。 また、大学の部活動との兼ね合いを考慮する必要がある。
29	その他	継続	あいサポート運動	未定	障がい福祉課	多様な障がいの特性、障がいのある人が困っていることなどを理解して、障がいのある人に対してちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある人が暮らしやすい地域社会(共生社会)をみんなで作る「あいサポート運動」推進の一環として、学生等を対象に「あいサポーター研修」を実施する。	事業中止	令和7年度実施無し (令和8年度に実施予定)	
30	その他	新規	和泉ミライの教員育成プロジェクト	地域連携課、 共通教育機構事務課	学校教育室 教職員担当	和泉市立学校を、教員をめざす学生の学びの場・児童生徒とのふれあいの場・和泉を知る場とし、「和泉市で先生になりたい」という人材の育成と支援を行う。	実施済み	・7名の実習生うち、桃山学院大学の学生を4名配属することができた。 ・実習生の配置により、児童生徒へのきめ細やかな学習支援や、様々な活動時での安全面への配慮にもつながっている。	実習生の確保。 和泉市立学校の即戦力となるように活動を通じて育成し、任用していくこと。
31	その他	新規	キャンパスメンバーズ実証実験	地域連携課	久保記念美術館	桃山学院大学の学生および教職員を対象とし、学生証・教職員証の提示により久保記念美術館の常設展及び特別陳列開催時の入館料を無料とする実証実験を行う。	実施済み	キャンパスメンバーズによる来館者約100名にアンケートを実施し、大学生が持っている美術館への関心や意識の把握に努めた。	令和8年度からは、協定書締結により負担金を徴収するため、更なる来館者増に繋がるよう大学担当部署と連携し、メール配信による展覧会情報の周知を強化する。
32	その他	継続	和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業(スクールカウンセラーとの連携)	学生相談室	福祉総務課	学生相談室のスクールカウンセラーとCSWが地域資源の共有や連携をすることで、学生のサポート体制の構築を図る。	事業中止	若年層の支援を充実させるため、学生相談室と地域資源の共有や連携をはかることを目的としていたが、昨年度の継続した取組は難しかった。	今後地域との関係機関として、必要に応じて共有や連携をはかることがありとされるが、継続した事業としては中止とする。

令和7年度連携事業実績一覧

実施済	24
事業中止	13
計	37

※予定時より2事業追加（新規1、継続1）（網掛け部分）

項番	種別	区分	事業名	大学担当部署	市担当部署	事業内容	実施状況	事業効果・成果	今後の課題等
33	ボランティア	新規	留守家庭児童会夏季休暇学生派遣事業	未定	生涯学習推進室 地域教育推進担当	小学校の夏季休暇中において、留守家庭児童会に学生を派遣し保育に関わっていただくことにより、支援員不足を補うとともに、「子ども」の支援に関心のある学生の意欲向上を図る。	事業中止	—	—
34	ボランティア	継続	青少年学習活動支援事業（コースゼネレーション、ふれあいサタデー）	ボランティア活動支援室	生涯学習推進室 青少年センター	青少年センターでは、青少年の多様なニーズに対応し、様々な学習活動や交流を促進するため、主に市内在住・在学の小中学生を対象とし、工作、実験、料理等の講習・講座を開催。参加者に年齢の近い大学生に講習・講座のサポートをしていただいたり、一緒に遊んでいただいたりすることにより、参加者同士が打ち解け合い、楽しく交流することを目的に事業を実施。	事業中止	新規ボランティアの参加が近年ないため、令和7年度においては手法を変更し、職員から直接ボランティア参加への声かけを実施したため。	新規ボランティアの参加がなく苦慮しています。今後も、新規ボランティアの参加に向けて、周知方法等について検討していきます。
35	ボランティア	継続	防犯ボランティア「桃/パト」	学生支援課	危機管理課	警察等とも協働し、防犯キャンペーン、交通事故防止キャンペーン、下校時見守り活動等のボランティア活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・緑ヶ丘小学校の下校時見守り活動 ・防犯教室の実施 ・青パト合同パトロール活動 ・各種防犯キャンペーンへの参加 ・各種防犯会議等への参加 	実施済み	見守り活動やパトロール等を通して、危険箇所の注意喚起や防犯、交通事故の抑止となっている。小学生の安全安心な登下校につながっている。	今後も継続して活動を行う
36	その他	新規	国勢調査事業	地域連携課	総務管財室 総務担当	行政が実態に応じた適切な施策を展開するには、国勢調査により市の人口構成を正確に把握する必要がある。しかし、学生については住民票を移動させていない場合もあり実態を把握しづらいなどの課題があるため、下記事項について桃山学院大学の協力のもと調査を行う。 ①学生の回答率向上について 桃山学院大学の学生（外国人留学生含む）に対し、国勢調査への回答依頼を周知することにより、調査への回答率向上を図る。周知方法としては、学内へのポスター掲示、チラシ配架、学校から学生への連絡ツール等の活用等。また、学生マンション等と提携している場合は、大学から当該マンション等に協力依頼をしていただくことなどを検討。 ②調査員について 国勢調査の調査員が毎回不足する傾向にある。桃山学院大学の学生に調査員になっていただいたこともあるが、負担も大きく突然辞退されるなど、軽い気持ちで調査員を担っていただくことは難しいと考え、やる気があると思われる公務員志望の学生や社会人聴講生を対象に、効果的な調査員募集の周知を検討。	実施済み	①学生の回答率向上について 大型モニターでのデジタルサイネージ利用、ポスター掲示（留学生向けには国際センター掲示板に多言語ポスター掲示）、チラシ配架、連絡ツールによる配信（3回）により学生の認知度の向上に寄与したと思われる。 学生向けマンションについては、調整は行ったものの、チラシ等の配架を拒否するマンション等もあったため、実現せず。 ②調査員について 調査員募集についても、ポスター掲示、チラシ配架、連絡ツール、大型モニターにより、学生及び聴講生に対して周知を行い、調査員確保に寄与したと思われる。	次回国勢調査についても同様に周知を行う。今回調査への協力に対して、桃山学院大学には感謝状を送付。